第20回アジア競技大会

本学学生・OBの選手たちがアジアの舞台で躍動

令和８年９月19日に開幕したアジア最大のスポーツの祭典「第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）」が、10月４日に16日間の日程を終えて閉幕しました。本学からは、在学生の梅澤幹太さん（スポーツ総合課程４年、松山工業高等学校・愛媛）が自転車競技男子オムニアムで金メダル、男子団体追い抜きで銀メダルを獲得。また、体操競技ではＯＢの金田希一さん（令和６年３月卒業、相好体操クラブ）が男子団体で銀メダルに貢献、種目別つり輪でも銀メダル獲得し、本学ゆかりの選手たちがアジアの舞台で活躍を見せました。

羽ばたけ 大空へ
蒼天
新財団聞
編集：鹿屋体育大学
発行：公益財団法人鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団
編集責任者：鹿屋体育大学長
発行人（発行責任者）：財団理事長　風呂井　敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内　0994-46-4827(直)

梅澤幹太さん 自転車男子オムニアムで 金メダル


男子オムニアム表彰式で、金メダルを手にする梅澤さん

「４年に１度のアジア大会という大きな舞台で優勝することができて、本当にうれしいです」。

男子オムニアムで金メダルを獲得した梅澤さんは、満面の笑みで喜びを口にしました。本学在学生のアジア競技大会自転車競技での金メダル獲得は、橋本英也さん（平成28年３月卒業）以来12年ぶりの快挙です。

今大会では２位に27点差をつける圧勝となりましたが、「ポイントレース開始前までは接戦でした。後半に勝負を仕掛ける作戦を決めていたので、焦らず落ち着いてレースを進めることができました」と冷静に振り返りました。

インカレ直前には体調を崩し、オムニアム２位、ロードレースでの落車も経験するなど、不安を抱えながら迎えた大会でした。それでも「周囲から励ましの言葉をいただき、コーチからも自分を信じて頑張ろうと言ってもらえたことが金メダルにつながった」と感謝を口にしました。

銀メダルを獲得した男子４㎞チームパーシュート（団体追い抜き）については、「チームに十分に貢献できなかった悔しさもありますが、まだ成長できると感じています。チーム全体でレベルアップし、日本記録更新を目指したい」とさらなる飛躍を誓いました。

大学３年時からはプロチームにも所属する梅澤さんの目標は、ロサンゼルスオリンピック出場です。「鹿屋という恵まれた環境で競技に取り組めることに、感謝しています。山口大貴先生をはじめ支えてくださった方々への恩返しとして、今回結果を残すことができてほっとしています。オリンピックに向けて、これからも努力を重ねてまいります」と力強く語りました。


男子オムニアムで先頭を走る梅澤さん

体操男子種目別つり輪で 銀メダル 団体総合 銀にも貢献した 金田希一さん


銀メダルを手に笑顔の金田さん ©AINAGOC

アジア競技大会体操競技には、橋本大輝選手（日本生命／セントラルスポーツ）や岡慎之助選手（徳洲会体操クラブ）ら世界のトップレベルの選手が顔をそろえる中で、つり輪のスペシャリストとして日本代表入りを果たしたのがＯＢの金田希一さんです。男子団体総合決勝では、日本は中国に次ぐ２位となり銀メダルを獲得。金田さんは得意のつり輪で安定感のある演技を披露し、最後の着地まで美しく決めて団体銀メダルに大きく貢献しました。

さらに男子種目別つり輪では、演技の完成度を示すＥスコアで出場選手中最高となる9・033点を記録。洗練された演技で銀メダルを獲得しました。

大会を振り返り、金田さんは「団体、種目別ともに優勝に届かなかった悔しさはありますが、日々重ねてきた努力を十分に発揮することができました。多くの方に感動を届けられていたら、うれしく思います。今回の経験を糧に、日本に必要とされる選手となり、オリンピックや世界選手権で金メダルを獲得できるよう精進してまいります」と、コメントを寄せました。

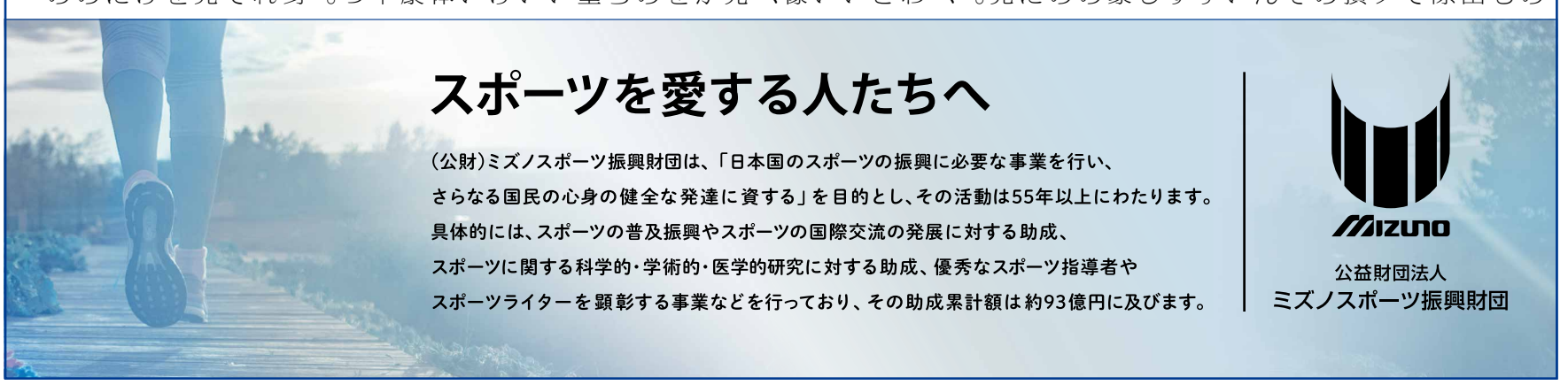
ロサンゼルスオリンピックを見据え、さらなる飛躍を目指す金田選手の挑戦から今後も目が離せません。

※カヌー男子スプリント・カナディアンペア500mに出場した吉田俊吾さん（令和５年３月卒業、自衛隊体育学校）は、５位入賞を果たしました。


微動だにせず、美しい演技を見せた金田さん

わかくさ

先日、心身のリフレッシュも兼ねて登山に出かけた。その際に見ることができたのが「ブロッケン現象」だ。山頂でふと振り返ると、雲の上に自分の影が映り、その周りを虹色の輪が囲んでいた。名前は知っていたものの、実際に目にするのは初めてで、思わず足を止めて見入ってしまった▼ブロッケン現象は、太陽を背にした人の影が霧や雲に映り、その周囲で光が細かな水滴によって散乱することで見られる自然現象である。天候や太陽の位置など、さまざまな条件がそろわなければ見ることができないため、比較的珍しい現象として知られている。これまで写真や映像で見たことはあったが、実際に目の前に現れた光景は想像以上に存在感があった▼山頂では景色を眺めながらしばらくその光景を観察した。後から調べてみると、条件が重ならなければ出現しないという。特に期待していたわけではなかっただけに、思いがけない出会いとなった▼日頃、鹿屋体育大学でスポーツや健康に関わる業務に携わる中で、身体活動の意義について考える機会は多い。今回の体験を通じて、身体を動かすことで得られるのは体力や健康だけではなく、予想もしない発見や経験でもあることを改めて感じた。名前だけ知っていた現象を実際に目にすることができたのは、印象に残る出来事の一つとなった。（Ｓ・Ｓ）



バレーボール成年女子で鹿児島県勢初の栄冠！

鹿屋体育大学単独チームが青森国スポ2026で日本一に！



青森県で開催された「第80回国民スポーツ大会（青の煌めきあおもり国スポ2026）」の成年女子バレーボール競技が、10月11日から14日まで青森市の五所川原市民体育館で行われました。鹿児島県代表として出場した鹿屋体育大学単独チームは、初戦の北海道を3-2で突破、準決勝の岐阜にも3-2とフルセットの試合で勝ち、決勝戦へと駒を進めました。

決勝では、山梨県代表の山梨中央銀行単独チームと対戦。第1、第2セットを24-26、23-25で落とし、2セットを先取される苦しい展開になりましたが、第3セットではリベロの光井結菜さん（スポーツ総合課程2年、誠英高等学校・山口）を中心とした堅い守備で流れを引き寄せると、第3、第4セットを25-20、25-17で奪って試合を振り出しに戻しました。

迎えた最終第5セットは、一進一退の白熱した展開となり、互いに譲らずデュースになるも、最後は木築沙良さん（同1年、福岡女学院高等学校・福岡）が勝負を決めるスパイクを叩き込み19-17で勝利、2セットダウンからの大逆転劇で、鹿児島県勢初となる成年女子バレーボール優勝の快挙を成し遂げ、日本一の座をつかみ取りました。

濱田幸二監督は大会を振り返り「鹿児島県代表として出場しましたが、九州ブロック代表（1枠）として選手・スタッフ一同強い責任と誇りを持って試合に臨みました。全試合がフルセットにもつれ込む非常に厳しい戦いとなりましたが、リベロ光井を中心とした堅いディフェンスで全員が最後まで守り抜き、勝ち切ることができました」とチームを称えました。また「これから九州リーグ、全日本インカレ、そして皇后杯と大きな大会が続きます。今回の優勝に満足することなく、チーム一丸となってさらに成長していきたいと思います」と、目標とする全日本インカレ制覇に向けて決意を新たにしました。



自転車競技部 梅澤幹太さん アジア大会金メダル 報告会・祝勝会を開催


報告会・祝賀会で話をする梅澤さん

10月21日、本学水野講堂で自転車競技部・梅澤幹太さんの第20回アジア競技大会における活躍をたたえる報告会・祝勝会を競技力向上委員会の主催で開催しました。当日は、学生、役員、教職員のおよそ400名が出席し、在学生として唯一同大会に出場した梅澤さんの快挙を全学で祝福しました。

梅澤さんは男子オムニアムで金メダル、男子4kmチームパーシュートで銀メダルを獲得。在学生によるアジア競技大会でのメダル獲得は、本学学生に大きな刺激を与えるとともに、スポーツの価値向上と発展を体現する成果となりました。

報告会では、山口大貴監督が梅澤さんの競技歴や大学入学後の成長の歩みを紹介。梅澤さんは、競技経験を競技力向上のための分析に生かしながら戦術や判断力を磨いてきたことを振り返り、大学の充実した環境や支えてくれた方々への感謝を述べました。また、自らの競技を研究対象として深く分析し、走りの最適化を追求したことが金メダル獲得につながったと語りました。

金久博昭学長は、本人の努力と才能に加え、山口監督をはじめとする関係者の支援が成果につながったと称賛するとともに「競技と学業の両立を通して得た梅澤さんの経験を、皆さんの日々の勉学や競技活動に生かしてほしい」と学生へ呼びかけました。

今後について梅澤さんは、2028年ロサンゼルスオリンピックへの出場を目標に掲げ「まずは団体種目での出場枠獲得に貢献し、その先で個人種目にも挑戦したい」と力強く決意を表明しました。会場からは、世界への挑戦を続ける梅澤さんと山口監督へ大きな拍手が送られました。


報告会・祝勝会に先立ち、梅澤さんと山口先生が学長を表敬訪問

「鹿屋体育大学サッカー教室in志布志」を開催

8月4日、志布志運動公園人工芝サッカー場において、志布志市教育委員会主催、本学サッカー部協力による「鹿屋体育大学サッカー教室 in 志布志」を開催しました。本事業は、本学と志布志市教育委員会との連携協力協定に基づく取組の一環として実施しており、昨年度に続き2回目の開催となりました。

当日は、曽於地区のサッカークラブチーム5チームから小学生43名が参加し、本学サッカー部トップチームの塩川勝行監督、村川大輔コーチ、選手9名が指導を行いました。子どもたちは「パス&コントロール」「シュート」「ポゼッション」「1対1」などのトレーニングやミニゲームに取り組み、大学生との交流を通じてサッカーの技術や楽しさを学びました。

閉会式では塩川監督から激励の言葉が送られたほか、志布志市出身で本学スポーツ総合課程4年の石崎祥摩さん（日章学園高等学校・宮崎、鹿児島県出身）が自身の経験を交えながら、目標に向かって努力を続けることの大切さを伝えました。本事業は、地域の子どもたちと大学生が交流を深めるとともに、地域と大学との連携強化や次世代育成につながる有意義な機会となりました。



志布志市学教室「特別講座（夢プロジェクト）」を実施





8月17日、本学において、志布志市教育委員会主催の志布志市志学教室「特別講座（夢プロジェクト）」を実施しました。今回の講座は、本学と志布志市教育委員会との連携協力協定に基づく取組の一環として開催しました。

当日は、志布志市内の中学生26名と関係者10名の計36名が来学し、SPORTECスポーツパフォーマンス研究センターにおいて、スポーツ科学の最先端機器を活用した測定体験を行いました。参加者は野球、陸上競技、テニスの3グループに分かれ、本学教員や学生のサポートを受けながら、競技力向上につながる科学的な測定を体験しました。

また、大学院生・学部生による講話では、これまでの経験を踏まえ、目標を持って挑戦することの大切さや将来の進路について語りました。さらに、学内施設の見学や学食体験も実施し、参加した中学生は大学生活やスポーツ科学への理解を深めました。スポーツ科学に触れる機会を提供するとともに、中学生が将来の進路や夢について考える有意義な学びの場となりました。

汲取の御注文
浄化槽の管理
水質保全に全力投球
鹿屋市許可
株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役　田中ふみ子
鹿屋市王子町4531－2
TEL（0994）43－3425

クボタ 農業機械
株式会社 ミズホ商会
http://www.mizuho.kubota.ne.jp
〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL（0994）43-4178
FAX（0994）44-9371
【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

すべての消費者のために!!
MOVE It's your time
TOP BOTTOM BE FIRST
寿スポーツ
鹿屋市新川町603-2
TEL 0994-44-2123


一番雫
まっすぐに。正直に。
大漉酒造株式会社
〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
TEL（0994）44-2190　Fax（0994）40-0950
○飲酒は20歳になってから
○飲酒は楽しく、適量を。
○妊娠中、授乳期の飲酒はお控えください。
○飲酒運転は法律で禁止されています。
@TAIKAISHUZOU

全日本大学ビーチバレーボール選手権で躍進

森川仁湖さん 木村響稀さんペアが 準優勝!!


現地で銀メダルと賞状を手に木村さん㊧と森川さん㊨

8月4日から6日にかけて、神奈川県川崎市の川崎マリエンで「アクティオ杯 ビーチバレージャパンカレッジ2026JVA第38回全日本ビーチバレーボール大学選手権大会」が開催され、森川仁湖さん（スポーツ総合課程2年、今治精華高等学校・愛媛）と木村響稀さん（同2年、共栄学園高等学校・東京）ペアが見事準優勝を果たしました。

森川さんは本学入学以来、インドアバレーボールとビーチバレーボールの二刀流に挑戦し続けており、昨年は「FISUワールドユニバーシティゲームズ」ビーチバレーボール日本代表にも選出されました。今回、木村さんと初めてペアを組んだことで、念願だった〝鹿屋体育大学ペア〟として大会に出場することができました。

女子バレーボール部に所属する2人は、練習のオフ日である月曜日と夜間、空き時間を活用しながらビーチバレーの練習に励んできました。今回の準優勝について、森川さんは「〝日本一〟を目指していたので、あと一歩届かなかったことは悔しいです。決勝までの戦いを通して2人に足りない部分も見えてきたので、来年もう一度挑戦できる機会があれば、今度こそ優勝したいと思います」とコメント。木村さんは「ペアを組んでから日が浅く、他チームと比べて連携や経験の差が出た部分もあったと思います。今年は限られた時間の中で準備して試合に臨みましたが、今後は空き時間をさらに有効活用して練習を重ね、来年こそは日本一をつかみ取りたいです」と意気込みを語りました。

2人が掲げる目標は、インドアとビーチの両方で日本一になること。競技と学業の両立に励みながら、2つの舞台で挑戦を続ける2人の今後のさらなる活躍に期待が高まります。


大学の会議室で取材後の2人

かのや夏祭り総踊り 一般の部 第1位を受賞


総踊りの様子

8月1日に鹿屋市市街地で開催された「かのや夏祭り総踊り」に、本学から学生102名（自転車競技部、硬式野球部、ダンス部、台湾からの留学生）と教職員、学生広報スタッフが参加しました。

かのや夏祭りは大隅半島最大級の祭りとして知られ、総踊りには約3000人が参加します。本学は地域との交流を深め、地域の活性化に貢献することを目的に毎年参加しています。

今年は椊ちか子教授と鹿児島工業高等専門学校の有薗ゆい講師の指導の下、昼休みなどを活用しながら練習を重ねてきました。当日は参加者全員が息の合った踊りと力強い掛け声を披露し、沿道の観客を魅了しました。学生と教職員が一体となった活気あふれるパフォーマンスで会場を大いに盛り上げ、地域の皆様との交流を深める貴重な機会となりました。

その結果、審査員による審査で高い評価をいただき、本学踊り連は見事「一般の部第1位」を受賞しました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、地域貢献活動に積極的に取り組んでまいります。




一般の部第1位の表彰状を手にする前田明理事・副学長

全国各地から高校生が参加 「2026年度スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学」を開催!



スポーツサイエンスキャンプ参加者の集合写真

8月19日から21日までの3日間、「2026年度スポーツサイエンスキャンプin鹿屋体育大学～スポーツ科学の最前線～From Gold」を開催しました。このプログラムは、高校生を対象とした先進的科学技術体験合宿で、参加者は2泊3日の日程で研究者による講義や実験を体験しました。熊本地震の影響により本学までの交通経路に一部制限がある中、全国各地から19名の高校生が参加しました。

1日目は、和田智仁教授と中本浩揮教授によるイントロ講義が行われ、プログラムの概要やスポーツ科学に関する最新研究、担当教員の専門分野などについて説明がありました。その後、大学施設の見学を行い、本学の教育・研究環境についてより具体的に知る機会となりました。

2日目以降は「スポーツ活動と心理」（担当：幾留沙智准教授）、「スポーツ活動と脳・神経」（担当：與谷謙吾教授）、「スポーツ活動の3次元分析」（担当：宮崎輝光講師）の3つのテーマで、講義と実験・実習が行われました。

講義にはスポーツ科学の専門的な内容も含まれていましたが、参加者は教員の説明に真剣に耳を傾け、実験・実習にも意欲的に取り組んでいました。また、プログラムの合間には、教員や大学院生スタッフに積極的に質問する姿も見られました。

参加した高校生からは、「スポーツをする人だけでなく、科学的に分析し支える人の役割の大切さを感じた」「実験や施設見学を通して、スポーツを科学的に学ぶ面白さを実感した」「心理学や最新機器に触れ、今後の競技や進路を考える貴重なきっかけになった」といった声が聞かれました。


実験の様子

課外活動団体紹介 男子バスケットボール部



鹿屋体育大学男子バスケットボール部は、九州大学バスケットボールリーグ1部に所属し、「愛し愛されるチーム」をスローガンに、学生主体で活動しています。昨年度は2部リーグから1部リーグへの昇格を果たし、今年度はさらに高いレベルの舞台で、チーム一丸となって日々の練習に励んでいます。

「鹿屋から全国へ」を合言葉に、九州大学リーグでの上位進出、そして全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ）への出場を目標に掲げています。練習では、個人の技術向上だけでなく、チームとしての戦術理解やコミュニケーションを大切にし、一人ひとりが主体的に考え、行動することを意識しています。

また、地域の皆様やスポンサー企業の皆様からいただく温かいご支援・ご声援を力に変え、競技面だけでなく、地域に愛され、応援されるチームを目指しています。今後も感謝の気持ちを忘れず、コート内外で鹿屋体育大学男子バスケットボール部らしい活動を続けていきます。

おそろいのユニフォームで応援しよう!
みんなが一つになれる思い出に残る自分たちだけのユニフォームを作ろう!
高精細Tシャツ プリンタ導入しました!!
最高解像度 1200dpi を実現!
相談 お見積もり 無料
選べる 2つの仕上がり
キャップや他の布製品も対応可能
写真プリント OK

ヒューマン印刷に徹する
株式会社新生社印刷
鹿児島県鹿屋市札元1-22-34
TEL 0994-43-2238
FAX 0994-43-7541
ホームページ　水なし印刷　ISO27001 認証取得　登録番号 IS276

あなたの町に、レモンガス
株式会社レモンガスかごしま 鹿屋支店
鹿屋市大浦町11423番地1
0994－42－2181

DIRECT!　DIRECT!
自宅・アルバイト先　kotobuki Driving School　自動車学校　学校・寮
★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!
★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます
運転免許のことなら
心豊かな車社会を願う
寿自動車学校
ご予約・お問い合わせ　TEL 0994-43-2627　E-mail : info@kotobuki-ds.jp
〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-13-30　県公安委員会指定教習所[技能試験免除]
ホームページURL　http://kotobuki-ds.jp

第62回全日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カヤック、カナディアン、女子カナディアン
優勝!!

8月25日から30日まで、東京・海の森水上競技場で「第62回全日本学生カヌースプリント選手権大会」が開催され、本学カヌー部の学生が男子カヤック、カナディアン、女子カナディアンの複数の種目で優勝を果たし、男子は「総合優勝」、女子は「総合3位」の好成績を収めました。優勝した種目と学生のコメントは、以下の通りです。



【男子K-1　1000m　島津成彰】
シングル1000mで2連覇を達成することができました。今の環境が当たり前でないことに感謝し、大学4連覇に向けて頑張っていきたいです（スポーツ総合課程2年、水俣高等学校・熊本）。

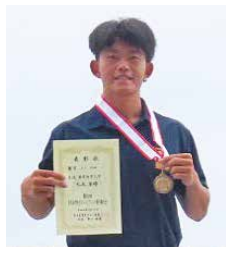


【男子K-1　200m　河野成玖】
このインカレを最後に競技を引退します。カヌーを好きなまま、後悔なく競技生活を終えたいという一心で、これまで努力を重ねてきました。最後の大会で優勝し、悔いなく締めくくることができ、心から「頑張ってきてよかった」と感じています（同4年、高田高等学校・大分）。



【男子C-1　200m　松本皇暉】
これからも全力で頑張ります（同3年、富士学苑高等学校・山梨）。

【男子C-2　1000m　福島悠斗、松本皇暉】
最後の年に優勝できてよかったです（福島、同4年、宮崎商業高等学校・宮崎）。



【男子C-2　200m　仲宗根倫太郎、植木善大】
とてもうれしかったです（仲宗根、同1年、国分高等学校・鹿児島）。
満足せず、まだまだ上を目指して頑張ります（植木、同1年、大口明光学園・鹿児島）。



【女子C-1　200m　中道綺華】
2連覇に向けて頑張ります（同3年、宮崎工業高等学校・宮崎）。



また、男子リレーK-1、4×500mは村橋慶太郎（同4年、宮崎大宮高等学校・宮崎）、河野、佐々木雄信（同3年、水俣高等学校・熊本）、島津のメンバーで優勝しました。（敬称略）

今月の記録（令和8年8月～9月）

【陸上競技部】

■第81回九州陸上競技選手権大会
(8/21～23　宮崎/霧島酒造スポーツランド都城 KUROKIRI STADIUM)

▽男子	砲丸投げ	1位	濱田　玲将

■第80回中国陸上競技選手権大会
(8/22～23 広島/Balcom BMW 広島総合グランド)

▽男子	800m	1位	島津　暖
	3000mSC	1位	有田　圭吾

■第54回九州学生陸上競技選手権大会
(9/18～20 福岡/久留米総合スポーツセンター陸上競技場)

▽女子	三段跳	1位	古林　凛乃

【男子バレーボール部】

■ジャパンビーチバレーボールツアー 2026アンダーエイジ九州・佐賀大会
(8/1～2 佐賀/唐津市西の浜)

▽男子		1位	稲葉　湧晴
			※他団体選手と出場

【女子バレーボール部】

■JVA第38回全日本ビーチバレーボール大学選手権大会
(8/4～6　神奈川/川崎マリエンビーチバレー場)

▽女子		2位	森川・木村

■令和8年度国民スポーツ大会第46回九州ブロック大会バレーボール競技
(8/22～23 鹿児島/Fアリーナいちき串木野)

▽女子		1位	鹿屋体育大学

■令和8年度天皇・皇后杯 JVA全日本バレーボール選手権大会九州ブロックラウンド
(9/19 宮崎/アスリートタウン延岡アリーナ)

▽女子		1位	鹿屋体育大学　Cブロック

【体操競技部】

■第80回全日本学生体操競技選手権大会(8/22～25　群馬/高崎アリーナ)

▽男子	団体総合	6位	鹿屋体育大学
	種目別あん馬	4位	笹本　凛

【水泳部】

■第73回全国国公立大学選手権水泳競技大会
(8/7～9　宮崎/パーソルアクアパーク宮崎)

▽男子	100m自由形	3位	北村　昂大
	200m自由形	3位	北村　昂大
	400m自由形	3位	歌野原　誠仁
	200m背泳ぎ	5位	石井　紀宙
	100m平泳ぎ	5位	大塚　心
		7位	下　祐矢
	200m平泳ぎ	5位	大塚　心
		6位	中島　周弥
	100mバタフライ	3位	久保田　心愛
	200mバタフライ	3位	久保田　心愛
		6位	大西　志庵
	400m個人メドレー	3位	歌野原　誠仁
	4×100mフリーリレー	3位	萬燈、井上 久保田、北村
	4×200mフリーリレー	2位	歌野原、大塚 久保田、北村
	4×100mメドレーリレー	3位	石井、大塚 萬燈、北村
▽女子	50m自由形	4位	池崎　心春
	100m自由形	2位	池崎　心春
	200m自由形	7位	山下　心
	400m自由形	2位	瀬津　菜々美
		4位	山下　心
	200m背泳ぎ	2位	瀬津　優美香
	100m平泳ぎ	2位	小松　千紗
		7位	今井　陽花
	200m平泳ぎ	2位	小松　千紗
	200mバタフライ	1位	瀬津　菜々美
		3位	奥川　夏実
	200m個人メドレー	2位	宮崎　未優
		6位	松本　さくら
	400m個人メドレー	2位	宮崎　未優
		4位	松本　さくら
	4×50mフリーリレー	2位	宮崎、瀬津(菜) 小松、池崎
	4×100mフリーリレー	2位	宮崎、瀬津(優) 瀬津(菜)、池崎
	4×100mメドレーリレー	2位	宮崎、瀬津(菜) 小松、池崎

■第102回日本学生選手権水泳競技大会 (9/3～6　大阪/東和薬品RACTABドーム)

▽女子	200m個人メドレー	6位	宮崎　未優

【柔道部】

■2026年度九州学生柔道体重別選手権大会
(男子69回　女子39回)　(8/29～30　福岡/福岡武道館)

▽男子	男子90kg級	1位	桑原　雅弥
	男子81kg級	1位	中臣　清十朗

【ヨット部】

■第26回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会
(8/22～24　宮崎/日南市大堂津セーリング会場)

▽女子	セーリングスピリッツ級	4位	深江　夏鈴
			※他団体選手と出場

【自転車競技部】

■文部科学大臣杯第81回全日本大学対抗選手権自転車競技大会
(8/28～9/6　千葉/TIP STARDOME CHIBA、群馬/群馬サイクルスポーツセンター)

▽男子	オムニアム	2位	梅澤　幹太
	タンデムスプリント	3位	福永、谷口
	4km個人追い抜き	4位	廣田　汰也
	個人ロードレース	4位	杉野　翔一
	チームスプリント	5位	並江、谷口、石田
	ケイリン	7位	福永　隼人
	スプリント	7位	石田　陽紀
	マディソン	8位	並江、金井
▽女子	個人ロードレース	2位	松井　妃那
		5位	石川　七海
		6位	淵　稟碧
		8位	三谷　優空
	マディソン	3位	三谷、石川
		5位	淵、松井
	オムニアム	4位	三谷　優空
		7位	松井　妃那
	スプリント	5位	加藤　明日香
	チームスプリント	5位	淵、加藤、石川
	4km個人追い抜き	5位	三谷　優空
		6位	石川　七海

【カヌー部】

■第62回関西学生カヌー選手権大会 (8/7～11　兵庫/宍粟市音水湖カヌー競技場)

▽男子	K-1　200m	1位	河野　成玖
	K-1　1000m	1位	島津　成彰
	K-1　Relay　4×500m	1位	小田、島津 河野、上野
	C-1　200m	1位	松本　皐暉
	C-2　200m	1位	仲宗根、植木
	C-2　1000m	1位	武井、西
▽女子	C-1　200m	1位	中道　綺華

■2026FISU世界大学カヌー選手権大会 (8/17～20　ハンガリー/セゲド)

▽男子	K-1　200m	12位	河野　成玖
	K-1　500m	10位	島津　成彰
	K-1　1000m	12位	島津　成彰
	K-4　500m	9位	島津　成彰
			※他団体選手と出場
	C-2　500m	8位	武井、西
▽女子	K-1　200m	13位	植木　春華
	K-4　500m	8位	植木　春華
			※他団体選手と出場

■第62回全日本学生カヌースプリント選手権大会(8/25～30　東京/海の森水上競技場)

▽男子	K-1　200m	1位	河野　成玖
		2位	島津　成彰
		6位	佐々木　雄信
	K-1　1000m	1位	島津　成彰
		7位	佐々木　雄信
	K-2　200m	3位	大瀬、深川
		4位	村橋、上野
		7位	酒井、小田
	K-2　1000m	2位	佐々木、島津
		3位	上野、大瀬
		6位	村橋、河野
	K-4　1000m	2位	河野、佐々木 島津、酒井
	K-1　Relay	1位	村橋、河野 佐々木、島津
	C-1　200m	1位	松本　皐暉
		6位	山城　翔
		8位	福島　悠斗
	C-1　1000m	6位	福島　悠斗
		7位	西　良偉
	C-2　200m	1位	植木、仲宗根
	C-2　1000m	1位	福島、松本
		2位	山城、澤田
		3位	武井、西
		6位	植木、仲宗根
	C-4　1000m	4位	武井、福島 松本、西
	C-1　Relay	3位	松本、西 植木、仲宗根
▽女子	K-1　200m	4位	植木　春華
	K-1　500m	2位	川野　円子
	K-2　200m	2位	新井、川野
	K-2　500m	2位	新井、川野
	K-4　500m	3位	上田、植木 新井、川野
	K-1　Relay	4位	鐘ケ江、植木 新井、川野
	C-1　200m	1位	中道　綺華
	C-1　500m	3位	中道　綺華

【なぎなた部】

■第65回全日本学生なぎなた選手権大会　(8/9　静岡/静岡県武道館)

	演技競技	1位	城間、大谷